

しろやぎさんからの手紙

病児の保育しろやぎさんのポシェット

NO. 16

朝夕はめっきり冷え込むようになり、木々の紅葉も秋空に美しく映えるようになってきました。朝夕の寒暖の差もあります。体調管理に気を付けて過ごしましょう。

《ウイルス性胃腸炎について》

嘔吐や下痢など、胃腸炎症状で来院する方が増えています。ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス検査を実施するには便検体が必要になります。検査をご希望の場合には、必ず便を密閉して医療機関にお持ちください。

＜ウイルス性胃腸炎の感染防止＞

ウイルス性胃腸炎は、吐物と便中に含まれるウイルスが主に口から体内に入ることによって感染します。嘔吐をした人の飛沫(くしゃみ、咳 etc)でも感染します。感染者のお世話をする看護者は、きちんとマスクを装着して対応する必要があります。また、トイレの後はきちんと手を洗いましょう。子ども達への正しい手洗い方法の指導が大切です。ノロウイルスには通常の手指消毒アルコールは十分な効果が期待できません。正しい手洗いが重要です。

＜おむつ交換の手順＞

乳幼児のおむつ交換は、飲食物や調理器具と交叉接触しない箇所で行いましょう。ウイルス性胃腸炎の流行期には、一見、健康そうに見えるお子さんの便中にも胃腸炎ウイルスが残存していることが多々あります。保育施設では下痢症状のない健康な児も含めたすべてのお子さんのおむつ交換の際には、使い捨て手袋を使用し、手袋をはずしたら手を洗いましょう。また、おむつやおしり拭きや、使用した手袋はすべてビニール袋に入れて密閉しましょう。

＜吐物の処理＞

嘔吐したお子さんがいた場合、まずは速やかに他のお子さんを他のお部屋に避難させることが大切です。すぐに正しく処理できない場合、吐物が乾燥して粒子が拡散し、室内にいる人に感染を広げてしまう恐れがあります。吐物は十分に換気をしながら、手袋をして、ティッシュやトイレトーパー等で吐物を広げないように集めて取り、ビニール袋に入れて密閉しましょう。



また、汚染箇所は速やかに次亜塩素酸ナトリウム(ミルトンやピューラックス等)で消毒しましょう。汚染されたリネン類も次亜塩素酸ナトリウム(キッチンハイター等)で消毒・漬け置き洗いしてから洗濯することが大切です。もちろん、手袋を外したら手を洗うことも大切です。

《インフルエンザ予防接種について》

日本ではインフルエンザは例年12月～3月頃に流行し、1月～2月に流行のピークを迎えます。予防接種の効果が十分に維持される期間は、接種後約2週間～5ヶ月とされていますので、毎年12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいとされています。年内に必要なワクチン接種を済ませましょう！なお、今シーズンのワクチンはA/H1N1、A/H3N2、B/山形系統、B/ビクトリア系統の4価のワクチンです。

流行状況 (H29.10/1～10/31 検査陽性者のみ)

	市内		市外	
	未就学児	就学児	未就学児	就学児
溶連菌	161	84	116	89
アデノウイルス			2	
手足口病・ヘルパンギーナ	5		3	1
ノロウイルス			1	
RSウイルス			1	
水痘				1
マイコプラズマ				1

対象：当院受診者

しろやぎさんのポシェット・病児保育の役割

私たちは、地域において病児の保育を行うとともに、育児サポートとして個別に相談を受け、病児保育室ご来室の保護者の方々にアドバイス etc.を行っています。

- 病気に関しての説明
 - おうちでの感染予防の方法
 - ぐっすり眠れない時の対応
 - 食欲がない時、下痢がひどい時の食事内容、食べさせ方、水分の摂らせ方
 - お薬の飲ませ方
 - 集団保育に戻る目安 など
- 安心して子供の病気に対応できるように、専門性を持つ機関として医師・看護師・保育士・栄養士、それぞれの立場から保護者の方々にサポートさせていただきます。

今月の遊び紹介

10月は、子供たちとハロウィン遊びをしました。おばけのお面やハロウィン

バッグを作りました。「お部屋に来てくれる大人の人達からお菓子をもらおう！」と、早速お面をかぶってスタンバイ。給食を運びに来た調理師さんに「トリック オア トリート!!」と言ってチョコをもらっちゃいました。お部屋に看護師さんが来た

時には、お薬が苦手な子も頑張って上手にお薬を飲んで キャンディーをもらっちゃいました！



お問い合わせやご相談は

那珂キッズクリニック小児科 病児の保育しろやぎさんのポシェット TEL: 090-2542-5630